

令和2年 5月22日

就職指導
御担当者 様

大和高田市企画政策部人事課
課長 石田 寛

令和2年度大和高田市職員採用試験の実施について

拝啓 時下ますますご発展のこととお喜び申し上げます。

標記のことについて、別紙のとおり採用試験を実施いたしますので、試験案内を送付いたします。

敬具

記

令和2年度大和高田市職員採用試験案内	<u>1部</u>
大和高田市職員採用試験申込書	<u>1部</u>

以上

令和2年度大和高田市職員採用試験案内

令和2年 5月22日
大和高田市職員採用試験委員会

令和3年度採用予定者の採用試験を次のとおり行います。

1. 職種及び試験区分、採用予定人員、受験資格など

職種及び試験区分	採用予定人員	受 験 資 格
一般事務職	16人	昭和60年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業した人、又は令和3年3月卒業見込みの人
情報処理技術職	6人	昭和50年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による高等学校を卒業し、かつ、独立行政法人情報処理推進機構が実施する「応用情報技術者試験」を合格した人で、令和2年3月末時点において、情報処理技術職の職務経験が3年以上ある人
建築技術職	3人	昭和50年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学、短期大学、高等学校の建築専門課程を卒業した人(大学、短期大学を令和3年3月卒業見込みの人を含む)
土木技術職	5人	昭和50年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学、短期大学、高等学校の土木専門課程を卒業した人(大学、短期大学を令和3年3月卒業見込みの人を含む)
電気技術職	1人	昭和50年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学、短期大学、高等学校の電気専門課程を卒業した人(大学、短期大学を令和3年3月卒業見込みの人を含む)
社会福祉士	3人	昭和50年4月2日以降に生まれた人で、社会福祉士資格を有する人、又は令和3年3月末日までに取得見込みの人
保育士 幼稚園教諭	10人	昭和50年4月2日以降に生まれた人で、保育士資格並びに幼稚園教諭免許の両方を有する人、又は令和3年3月末日までに両方取得見込みの人
保健師	2人	昭和50年4月2日以降に生まれた人で、保健師免許を有する人、又は令和3年3月末日までに取得見込みの人
臨床心理士 又は公認心理師	1人	昭和50年4月2日以降に生まれた人で、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する臨床心理士又は公認心理師資格を有する人
診療情報管理士	1人	昭和50年4月2日以降に生まれた人で、診療情報管理士資格を有する人

※1 「大学」には、専修学校の専門課程を卒業した人、又は卒業する見込みの人で、高度専門士の称号を取得した人、又は令和3年3月31日までに取得する見込みの人(当該受験資格該当課程であることの証明が得られるものに限る)を含みます。

※2 「短期大学」には、専修学校の専門課程を卒業した人、又は卒業する見込みの人で、専門士の称号を取得した人、又は令和3年3月31日までに取得する見込みの人(当該受験資格該当課程であることの証明が得られるものに限る)を含みます。

※3 高等学校卒業程度認定試験合格者は、高等学校卒業と同等に取り扱います。

※4 保育士・幼稚園教諭は、採用後、市立の保育所、幼稚園及び認定こども園のいずれかに配属する予定です。

※5 「職務経験年数」とは、民間企業等に勤務、又は、公務員等として同一事業所に1週あたり30時間以上継続勤務していた期間のことをいいます。

① 勤務時間は、就業規則・雇用契約等に規定されている時間で、残業等の時間は含めません。

② 職務経験が複数ある場合は、通算することができます。ただし、育児休業、休職等で休んでいた期間は通算できません。

◎全ての職種において国籍は問いませんが、次のいずれかに該当する人は受験できません。

(1) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、又はその執行を受けることがなくなるまでの者

(2) 大和高田市職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者

(3) 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

(4) 日本国籍を有しない人で、在留資格において就職などが制限されている者

2. 試験の日時・場所・試験の種類及び合格発表

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、日程及び内容が変更になる場合があります。

区 分	第 1 次 試 験	第 2 次 試 験	第 3 次 試 験
日 時	令和2年7月12日(日) 午前9時30分から	令和2年8月頃予定	令和2年9月頃予定
場 所	大和高田市立高田中学校	第1次試験合格者に通知	第2次試験合格者に通知
試験の 対象と 種 類	・全職種 ①教養試験 ・建築技術職、土木技術職、 電気技術職、保健師、 保育士・幼稚園教諭 上記①及び専門試験	・全職種 ① 集団討論試験 ② 職場適応性検査 ・保育士・幼稚園教諭 上記①②及び実技試験	・全職種 ① 個別面接 ② 小論文
合格発表	令和2年7月下旬予定 (合否にかかわらず本人に 通知します)	令和2年8月頃予定 (合否にかかわらず本人に 通知します)	令和2年9月頃予定 (合否にかかわらず本人に 通知します)

※ 第1次試験の専門試験を受験される方につきましては、各自昼食のご用意をお願いします。

※ 合否については、大和高田市のホームページでも確認できます。

※ 試験の内容に関する問い合わせについては、一切お答えできません。

※ 試験当日、災害等により試験開始時間が変更又は試験が延期される場合は、ホームページにおいてお知らせします。

※ 第1次試験会場

大和高田市立高田中学校

大和高田市大中東町5番48号 TEL: 0745-22-0851

3. 受験手続

受験申込手続は、【郵送申込のみ】となります。※持参不可

1 申込書の交付

職員採用試験申込書については、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、本市ホームページからのダウンロードのみの対応となります。市役所内での配布は行いません。

2 受付期間

受付期間：令和2年5月26日（火）から令和2年6月9日（火）まで（9日必着）

3 提出書類（①から③は全職種とも必要となります。）

① 職員採用試験申込書

② 写真2枚（3カ月以内に撮影した上半身の写真（縦4cm 横3cm）で、1枚は申込書に貼付し、もう1枚は受験票用に同封してください）

③ 返信用封筒2通（長形3号：23.5cm×12.0cm）

2通（受験票発送用、第1次合否発送用） 両方ともに84円切手を貼付し、自宅の郵便番号、住所、宛名を記入してください。

※ 第1次試験合格者には、大和高田市職員採用試験委員会が指定する期日までに、下記の書類の提出を求めます。

① 最終学校卒業（見込）証明書

② 資格証明書・免許証の写し、又は取得見込証明書（写し不可）

情報処理、社会福祉士、保育士・幼稚園教諭、保健師、臨床心理士又は公認心理師、診療情報管理士の受験者は必要となります。

③ 職務経験年数を証明する在職証明書

情報処理技術職の受験者のみ必要となります。

4 申込方法

提出書類を下記の送付先まで、角形2号（A4サイズ）の封筒の表側に「申込書在中」と朱書きし、必ず「簡易書留」で郵送してください。

5 送付先

〒635-8511

大和高田市大字大中100番地1

大和高田市役所企画政策部人事課内

「大和高田市職員採用試験委員会」

6 受験票の交付

① 受験票は、申込受付期間終了後、提出された返信用封筒により送付します。

②受験票が7月1日（水）になっても届かない場合、人事課に必ずお問い合わせください。

③第1次試験当日には、受験票を必ず持参してください。

4. 試験結果の開示

試験の結果については、開示請求ができます。電話などによる開示請求はできませんので、受験者本人が、受験票と本人であることを証明する書類（運転免許証等）を持って、直接市役所3階人事課までお越しください。

区分試験	請求できる人	開示内容	開示期間及び開示場所
第1次試験 第2次試験 第3次試験	不 合 格 者 (本人に限る)	総合得点 総合順位	不合格通知の日から起算して2週間 大和高田市役所3階人事課

※ 開示時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後5時までです。

5. 合格から採用まで

(1) 最終合格者は採用候補者名簿に登載し、次の区分により採用します。

① 採用予定者 令和3年4月1日付けで採用します。

② 採用候補者 令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に欠員などが生じ、補充することが必要であるときに限り採用します。

(2) 採用候補者名簿の有効期間は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までです。

(3) 最終合格者のうち、卒業見込みの人が令和3年3月末日までに卒業できなかった場合、並びに免許又は資格取得見込みの人が、所定の時期までにこれを取得できなかった場合は、その時点で採用候補者名簿（採用予定者、採用候補者）から抹消します。

(4) 本市では、採用試験（合格者決定）を適正に行うため、民間有識者で構成される「大和高田市職員採用試験検討・監理委員会」を設置しています。

6. 給与について

- 令和2年4月1日現在の初任給月額は、大卒182,200円、短大卒163,100円、高校卒150,600円で、他に地域手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等がそれぞれの条件に応じて支給されます。

ただし、現在、市の財政健全化に資することを目的に、一部手当については減額措置を講じています。

- 初任給は、採用前の経歴などに応じて加算されることがあります。
- 全ての職種の給料は、行政職給料表を適用します。

7. その他

- 申込書の記載事項及び提出書類に不備がある場合は、補正を求めるためお返しすることがありますが、これによる提出期限の延長は行いませんので、余裕をもって申込みをしてください。
- 受験資格がないこと及び申込書の記載事項が正しくないことが判明した場合には、合格を取り消すことがあります。
- この試験に関する提出書類は、一切お返しいたしません。取得した個人情報については、今回の職員採用試験の実施のために用い、それ以外の目的には使用しません。また、大和高田市個人情報保護条例に基づき、適正に管理します。

<令和2年度大和高田市職員採用試験受験における留意事項>

大和高田市職員採用試験を受験される方は、以下の点に留意してください。

1. 体調不良の方

新型コロナウイルス感染症などに罹患し治癒していない方や濃厚接触者として健康観察の指示を受けている方は、他の受験者への感染のおそれがあるため、当日の受験を控えていただくようお願いします。

なお、これを理由とした欠席者向けの再実施は予定しておりません。

2. マスクの着用等

試験当日の試験会場では、感染予防のため、マスクの持参・着用をお願いするとともに、咳エチケットの徹底をお願いします。

なお、試験時間中の写真照合の際には、試験員の指示に従い、マスクを一時的に外してください。

また、休憩時間中は、適宜、手洗いをするなど、感染症対策にご協力をお願いします。

3. 試験室の換気

試験室は換気のため、試験中も適宜、窓やドアなどを開けます。室温の高低に対応できるよう服装には注意してください。

4. 緊急連絡事項をお知らせする場合

今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況等によっては、試験の延期や会場変更など緊急連絡事項をお知らせする場合がありますので、必ず事前に大和高田市ホームページをご確認ください。

試験についての問い合わせ先

〒635-8511 大和高田市大字大中100番地1
大和高田市役所 企画政策部人事課内
「大和高田市職員採用試験委員会」

TEL 0745-22-1101（内線214）

大和高田市職員採用試験申込書

令和 年 月 日受付

[illegible]

< 志望動機 >	
取 得 年 月	資 格 ・ 免 許 等
< 希望する仕事 >	
< 趣味・特技・所属クラブ等 >	
備 考	

私は、令和2年度大和高田市職員採用試験案内に掲げてある受験資格をすべて満たしており、この申込書の記載事項はすべて事実と相違ありません。

令和 年 月 日

氏 名 (自筆) _____

四教文第28号
令和2年5月25日

国公立・私立大学考古学関係研究室 様

四国中央市教育委員会
教育長 東 誠
(公印省略)

令和2年度四国中央市職員採用試験
(学芸員(上級/埋蔵文化財業務))の実施について (依頼)

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は当市の文化財保護行政にご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度の当市職員採用に係る選考につきましては、別紙「平成2年度四国中央市職員採用試験実施要綱」に基づき行うこととしていたところですが、今回当該選考において埋蔵文化財専門職員(学芸員)についての採用試験を実施することとなりました。

つきましては、広く考古学に関する専門性を有する人材を募るため、周知にご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

※募集要綱及び申込用紙等については市HP(下記アドレス)よりダウンロードが可能ですので、ご活用下さい。

https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/shisei/jinjisaiyou/saiyoujoho_seiki/saiyoyoko.html

令和2年度（前期A日程）四国中央市職員採用試験実施要綱

令和2年4月1日
四国中央市

1. 試験区分、採用予定人員及び職務内容

試験は、次の職種及び試験区分について行います（この実施要綱は、（前期A日程）採用試験のものです。公務員試験対策不要区分、職務経験者区分、各職種（初級）又は福祉職（上級）については、別途公表する（前期B日程、前期C日程又は後期D日程）四国中央市職員採用試験実施要綱をご確認ください。）。

前期A日程、前期B日程、前期C日程及び後期D日程採用試験のうち希望するいずれか1つについてのみ受験できます。

職 種	試験 区分	採用予定 人員	職 務 内 容
一般事務職	上級	10人程度	市役所又は出先機関に勤務し、一般事務等に従事する。
技術職（土木）	上級	3人程度	市役所又は出先機関に勤務し、技術的業務その他一般事務に従事する。
	中級	1人程度	
技術職（建築）	上級	2人程度	
技術職（機械）	上級	1人程度	
	中級	1人程度	
保健師	上級	2人程度	市役所又は出先機関に勤務し、保健師業務その他一般事務に従事する。
保育士/ 幼稚園教諭	中級	8人程度	保育園、幼稚園、認定こども園又は児童福祉施設等に勤務し、保育業務、幼児教育業務その他一般事務に従事する。
作業療法士	中級	1人程度	主に市役所又は出先機関に勤務し、作業療法士業務その他一般事務に従事する。
言語聴覚士	中級	1人程度	主に市役所又は出先機関に勤務し、言語聴覚士業務その他一般事務に従事する。
心理判定員	上級	1人程度	児童や保護者、障がい者等に対する心理判定や心理療法その他相談業務に従事する。
学芸員（埋蔵文化財）	上級	1人程度	埋蔵文化財に係る発掘調査、遺物の整理、報告書の刊行、普及業務その他一般事務に従事する。
消防職	上級	2人程度	消防業務及び救急救命業務に従事する。
	中級	2人程度	

2. 受験資格

次の（1）から（3）までの要件を全て満たす者

（1）日本国籍を有する者

(2) 次のいずれにも該当しない者（地方公務員法第16条の欠格条項）

- ① 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ② 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ③ 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、地方公務員法第5章に規定する罪を犯し刑に処せられた者
- ④ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

(3) 四国中央市に居住する者又は採用後市内に居住可能な者で、次に該当するもの

職 種	試験区分	学 歴 資 格 等
一般事務職	上級	平成3年4月2日以降に生まれた者で、学校教育法による4年制大学（大学院）を卒業した者又は令和3年3月末までに卒業見込みの者
技術職（土木）	上級	平成3年4月2日以降に生まれた者で、学校教育法による4年制大学（大学院）を卒業した者又は令和3年3月末までに卒業見込みの者
技術職（建築）		
技術職（機械）		
技術職（土木）	中級	平成3年4月2日以降に生まれた者で、学校教育法による短期大学、高等専門学校又は専修学校（専門学校）を卒業した者又は令和3年3月末までに卒業見込みの者（学校教育法による4年制大学を卒業した者及び令和3年3月末までに卒業見込みの者を除く。）
技術職（機械）		
保健師	上級	平成3年4月2日以降に生まれた者で、保健師の資格を有する者又は令和3年3月末までに資格を取得する見込みの者
保育士/ 幼稚園教諭	中級	平成3年4月2日以降に生まれた者で、保育士及び幼稚園教諭の両方の資格を有し保育士登録を完了している者又は令和3年3月末までに両方の資格を取得し保育士登録が完了する見込みの者
作業療法士	中級	昭和56年4月2日以降に生まれた者で、作業療法士の資格を有する者又は令和3年3月末までに資格を取得する見込みの者
言語聴覚士	中級	昭和56年4月2日以降に生まれた者で、言語聴覚士の資格を有する者又は令和3年3月末までに資格を取得する見込みの者
心理判定員	上級	昭和56年4月2日以降に生まれた者で、臨床心理士の資格を有し、かつ、令和3年3月末までに医療機関・教育相談機関・社会福祉施設等において、心理判定や心理療法、その他相談業務に関する実務経験が、通算2年以上ある者
学芸員（埋蔵文化財）	上級	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者で、4年制大学（大学院）において考古学又は文化財学の課程を専攻し卒業した者又は令和3年3月末までに卒業見込みの者

消防職	上級	平成3年4月2日から平成11年4月1日までに生まれ普通自動車免許を取得又は取得見込みの者で、学校教育法による4年制大学（大学院）を卒業した者又は令和3年3月末までに卒業見込みの者
	中級	平成7年4月2日以降に生まれ普通自動車免許を取得又は取得見込みの者で、救急救命士の資格を有する者又は令和2年度末までに救急救命士国家試験の受験資格を有し、かつ、令和2年度実施予定の同試験受験見込みの者

※注1 上級における大学卒業（卒業見込みを含む。）の者には、高等専門学校専攻科卒業（卒業見込みを含む。）かつ学士の学位取得（取得見込みを含む。）者を含みます。

※注2 心理判定員における実務経験について

- ① 事業所等において、概ね週30時間の勤務時間で就業していた期間が該当します。
- ② 複数の事業所にわたっている場合は、これらを通算することができます。
- ③ 最終合格決定後、実務経験年数を確認するため、職歴証明書の提出が必要です（証明書が取得できない場合は、採用しませんので注意してください。）。

3. 試験日・試験場所及び合格発表

区分	試験日	場所	合格発表
第1次試験	令和2年7月12日(日) ※受付時間 8:00～8:30	四国中央市 福祉会館4階 多目的ホール	令和2年7月下旬に可否の通知をするとともに、市役所掲示場に合格者の受験番号を公告します。
第2次試験	令和2年8月下旬頃の予定（詳細は、第1次試験合格者に通知します。）		
第3次試験	令和2年10月上旬頃の予定（詳細は、第2次試験合格者に通知します。）		

※注 第1次試験の会場は、応募人数によって変更する場合があります。その場合ホームページ等でお知らせします。

4. 採用試験の方法

(1) 第1次試験

ア. 教養試験（全試験区分）

公務員として必要な一般的知識、知能及び教養について、筆記試験を行います。

イ. 専門試験（技術職[土木、建築、機械]、保健師、保育士/幼稚園教諭）

次の職種及び試験区分に必要な専門知識について、筆記試験を行います。

職種	試験区分	出題分野
技術職（土木）	上級 中級	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、土木計画（都市計画を含む。）、材料・施工
技術職（建築）	上級	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画（都市計画、建築法規を含む。）、建築設備、建築施工
技術職（機械）	上級 中級	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作

保健師	上級	公衆衛生看護学、疫学、保健統計学、保健医療福祉行政論
保育士/ 幼稚園教諭	中級	社会福祉、子ども家庭福祉(社会的養護を含む。)、保育の心理学、 保育原理・保育内容、子どもの保健 ・障害児保育については、上記のいずれかの分野で出題することがあります。

※注 一般事務職、作業療法士、言語聴覚士、心理判定員、消防職については、専門試験はありません。

ウ. 性格検査(全試験区分)

(2) 第2次試験(第1次試験合格者に対して行います。)

ア. 面接試験(全試験区分/個人又は集団面接、グループディスカッション)

イ. 作文試験(全試験区分)

ウ. その他試験(消防職/体力試験)

(3) 第3次試験(第2次試験合格者に対して行います。)

ア. 面接試験(全試験区分/個人面接試験)

5. 受験手続

(1) 申込書及び受験票の請求

令和2年4月1日(水)から四国中央市役所総務部人事課(市役所5階。以下「人事課」という。)及び各市民窓口センター受付でお渡しします。また、**四国中央市公式HPからのダウンロードも可能**です。印刷の際は**A4両面印刷**をしてください。

(2) 申込手続

申込書及び受験票に必要な事項を記入し、人事課に提出してください。申込みの受付と同時に受験票を交付します。

郵送による申込みの場合は、封筒の表に「受験申込」と朱書し、簡易書留で郵送してください。また、**宛先を書いた返信用封筒(長形3号封筒)に84円分の切手を貼り、必ず同封**してください。(簡易書留の控えは、受験票が届かないときの確認手段となりますので、受験票が届くまで大切に保管してください。令和2年6月19日(金)までに受験票が届かない場合は、人事課に問合せください。)

なお、ホームページからの申込みは、できません。

6. 受付期間

令和2年4月6日(月)から6月12日(金)までの執務時間中(土・日曜日及び祝日を除き午前8時30分から午後5時15分まで)人事課で受け付けます。なお、郵送の場合は、令和2年6月12日(金)までの消印のあるものに限り受け付けます。

7. 提出書類

① 四国中央市職員採用試験申込書(写真貼付)

② 受験票(写真貼付。提出時に受験票に受験番号の交付をしますので、試験当日に持参してください。)

8. 合格・採用

第1次試験では、各試験科目のうち所定の基準を一つでも超えていない科目がある場合は不合格となります。また、第1次試験受験者全員に、試験の可否、本人の得点及び合格基準点を通知します。

なお、この試験の最終合格者は、令和3年4月1日付けで四国中央市職員として採用されることとなりますが、次の事項に該当する場合には合格を取り消します。

- (1) 申込書等の記載事項に虚偽又は不正があることが判明した場合
- (2) 所定の期日までに卒業しなかった場合
- (3) 所定の資格若しくは免許を取得しなかった場合又は救急救命士国家試験を受験していない場合
- (4) 採用までに市職員採用内定者として不適切又は欠格条項に該当する事実が判明した場合

9. 給 与

給与は、四国中央市職員の給与に関する条例等の規定により支給され、該当者に対しては、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当等が支給されます。

令和2年4月1日現在の初任給は、上級 182,200 円、中級 163,100 円で、職歴等がある場合は、基準に基づき一定の調整があります。

10. その他（問合せ／請求／照会）

受験手続その他不明な点は、人事課に問合せください。また、本試験に関して内容の変更や追加等のお知らせがある場合は、下記ホームページに随時掲載しますので、受験前に必ずご確認ください。

〒799-0497 四国中央市三島宮川4丁目6番55号

TEL 0896-28-6004（内線 1451・1452/人事課人事係）

ホームページ

URL: https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/shisei/jinjisaiyou/saiyoujoho_seiki/index.html

Eメールアドレス: jinji@city.shikokuchuo.ehime.jp

令和2年度(前期A日程)四国中央市職員採用試験申込書

1. 国籍		(フリガナ)		3. 職種／試験区分	
		2. 氏名			
4. 生年月日・年齢・性別		性別		※受験番号(記入不要)	
昭和・平成 年 月 日生 満 歳 (令和3年4月1日現在)		男 ・ 女			
(フリガナ)				(写真欄) 1. 試験申込時に、写真を貼って持参してください。写真を貼っていないと受付できません。 2. 写真は、受験前6月以内に無背景・脱帽で正面から上半身を撮影した縦4.5cm横3.5cmのもので本人と確認できる必要があります。	
5. 現住所					
〒 -					
電話番号 () - 携帯電話番号 -					
(フリガナ)					
6. 試験結果等連絡先(現住所と同じ場合は記入不要)					
〒 -					
電話番号 () -				年 月 日撮影	
7. 学歴 高等学校以上の学歴について最近のものを上段から順に記入してください。※学校名、学部学科名を記入する必要はありません。					
学校種別を○で囲む			期間		該当を○で囲む
最終	大学院・大学・短大・専門学校・高専・高校・その他()	年 月から 年 月まで	卒 卒見込 年中退 年在学		
	大学院・大学・短大・専門学校・高専・高校・その他()	年 月から 年 月まで	卒 卒見込 年中退 年在学		
	大学院・大学・短大・専門学校・高専・高校・その他()	年 月から 年 月まで	卒 卒見込 年中退 年在学		
	大学院・大学・短大・専門学校・高専・高校・その他()	年 月から 年 月まで	卒 卒見込 年中退 年在学		
	大学院・大学・短大・専門学校・高専・高校・その他()	年 月から 年 月まで	卒 卒見込 年中退 年在学		
8. 資格・免許 受験資格として必要な資格・免許及びその他資格・免許を記入してください。(卒業後に取得見込のものを含む。)					
普通自動車免許 有 無	年 月	保健師 有 無	年 月	保育士 有 無	年 月
幼稚園教諭 有 無	年 月	作業療法士 有 無	年 月	言語聴覚士 有 無	年 月
臨床心理士 有 無	年 月	救急救命士 有 無	年 月	有 無	年 月
	年 月		年 月		年 月
9. 職歴 今までの職歴(自家営業・学生時代におけるアルバイトを含む。)について最近のものを上段から順に4つまで記入してください。					
勤務先 (部課まで)	所在地 (市、区、町、村まで)	在職期間	年数	職務内容	職名
		年 月から 年 月まで	年 ケ月		
		年 月から 年 月まで	年 ケ月		
		年 月から 年 月まで	年 ケ月		
		年 月から 年 月まで	年 ケ月		

裏面も記入してください。

10. 専攻科目	11. 得意な科目	12. クラブ活動
13. 志望した理由		
14. アピールしたいこと		

私は次のいずれにも該当しておりません。また、この申込書に記載した事項は、事実と相違ありません。

- (1) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (2) 四国中央市職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- (3) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

令和 年 月 日

氏名
(本人自署)

◎記載事項に不正があれば職員として採用される資格を失います。

令和2年度(前期A日程)四国中央市職員採用試験受験票

職種／試験区分	※受験番号(記入不要)
(フリガナ)	

(写真欄)

- 試験申込時に、写真を貼って持参してください。写真を貼っていないと受付できません。
- 写真は、受験前6月以内に無背景・脱帽で正面から上半身を撮影した縦4.5cm横3.5cmのもので本人と確認できるものが必要です。

年 月 日撮影

試験日時 令和2年7月12日(日) 午前8時40分着席

受付時間 午前8時から 午前8時30分まで

試験会場 四国中央市福祉会館4階多目的ホール

試験結果等連絡先

郵便番号	-
住所	

受験の心得

- 受験当日には必ず本票、筆記用具(HB鉛筆・消しゴム)を持参し、定刻までに来てください。
(遅刻した場合は、受験できません。)
時計を持参する場合は、時計機能だけのものに限りです。
- 試験会場及びその敷地内は全面禁煙です。
- 試験の合格通知は、上記送付先に行います。

四国中央市総務部人事課
(TEL 0896-28-6004)

切り取り

注意事項

学歴欄は、必ず最終の学校から順に高等学校までを記載してください。
※例えば、大学を卒業若しくは卒業見込みの者が、最終学歴として高等学校を記載すると、記載事項に不正があると見なされ、採用される資格を失います。

【受験申込みから第1次試験までの流れ】

(申込書を人事課へ持参する場合)

申込用紙等(申込用紙及び受験票)に必要事項を記載して、人事課へ持参してください。



申込用紙等を人事課へ提出 受験票については、受験番号を交付しますので、持ち帰ってください。



第1次試験当日、受験票を試験会場に持参し、受付に提出してください。

(申込書を人事課へ郵送する場合)

申込用紙等(申込書及び受験票)に必要事項を記載し、定型の封筒(84円切手貼付)を同封のうえ、簡易書留で、人事課へ郵送してください。



申込用紙等を人事課で受付した後、受験票(受験番号を交付したもの)を同封の返信用封筒で返送します。



第1次試験当日、受験票を試験会場に持参し、受付に提出してください。

申込前にもう一度チェックしてください。

- すべての項目をもれなく記入しましたか？
- 学歴欄は、高等学校以上のものを記入しましたか？
- 年齢は、令和3年4月1日現在の年齢を記入しましたか？
- 申込書表面に写真を貼付し、裏面の自署欄に日付、氏名を自署しましたか？

2020 年 5 月 13 日

関係各位

同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 遠藤 徹

教員（英語任期付）の公募について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび当学部では、下記の要領で任期付教員を募集することになりました。

つきましては、貴関係者にご周知いただき、適任者の応募についてご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 任用職名：助教、准教授または教授
2. 担当科目：全学共通教養教育科目（英語）、および英語圏の文化・社会に関する科目
3. 採用人員：1 名
4. 任用期間：2021 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の 5 年間（任用期間満了後の契約更新はしない）
5. 応募資格：
 - （1）英語を第一言語とする者、あるいはそれと同等の英語運用能力を持つ者。
 - （2）英語教育または英語文化圏に関する学問分野で修士以上の学位を有する者。
 - （3）博士課程前期（修士課程）修了後、大学またはそれと同水準の教育機関において、3 年以上の英語教育歴を有する者。
 - （4）校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者。
 - （5）採用後、近畿圏に居住できる者。
 - （6）応募時点で 3 点以上の研究業績を有する者。
6. 義務時間および業務：
 - （1）授業担当は、今出川校地および京田辺校地における 1 週 16 時間（8 コマ）を最少基準とする。
 - （2）科目担当以外に、英語のカリキュラム運営に関する業務（教材作成、登録相談等）、学期末試験の監督（他教員の担当科目の応援監督を含む）、学生の英語能力向上を支援する業務（語学カウンセリング等）、国際交流に寄与する業務、広報・入学試験関連業務等を担当する。
7. 提出書類：
 - （1）履歴書・研究業績書および学校法人同志社内における職務経歴報告書、各 1 通。
書式は同志社大学ホームページを参照のこと。
（ダウンロード可 <https://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>）
 - （2）主たる研究業績 2 点（抜き刷り、コピー可）、およびその日本語要約（各 800 字程度）を各 3 部送付のこと。
 - （3）応募理由書（これまでの教育実績および今後の教育研究計画を 1,000 語程度の英文にまとめたもの）を 3 部。
 - （4）授業評価記録、シラバス、表彰歴など、優秀な教育実績を証明できるもの（コピー可）。（任意）

- (5) 修了証明書（修士）もしくは博士課程修了証明書のコピー 1 部。
 - (6) TESOL の資格保持者は、その証明書類（diploma または certificate）のコピー 1 部。
 - (7) 日本語能力を証明する書類（日本語能力試験等）を有する者は、証明書類のコピー 1 部。
8. 応募締切日：2020 年 7 月 1 日（水）17：00【必着】
9. 書類提出先：〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上る
同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 遠藤 徹
- 注）封筒の表に「英語教員（任期付）応募書類在中」または
“Application Documents (Contract)” と朱書し、必ず書留便で
送付すること（宅配便可）。

10. 選考方法：

(1) 審査手続き

第 1 次審査：上記提出書類による業績審査。

第 2 次審査（9 月第 1 週）：第 1 次審査通過者にはその他の業績の提出を求め、新たな業績審査および英語と日本語による面接審査を行う。面接審査は、模擬授業および日本語読解力の簡単なテストを含む。

- (2) 第 1 次審査通過者に対しては、第 2 次審査のための提出書類、締め切り日、および面接日、面接場所を連絡する。（Web 面接の可能性有り）。
- (3) 面接に際し、本学部所定の交通費を支給する。
- (4) 選考結果については、選考終了後すみやかに本人に通知する。
- (5) 上記 7 の提出書類は原則として返却しない。返却を希望する場合は、送付先を明記した着払い伝票を同封のこと。
- (6) 夏期休暇中に連絡先が変わる場合には、変更期間、変更先の住所、電話／ファックス番号、E メールアドレス等を記載し、必ず応募書類に同封すること。

同志社大学グローバル地域文化学部

電話：075-251-2610 Fax：075-251-2781

E メール：ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp

グローバル地域文化学部ホームページ：<https://gr.doshisha.ac.jp/>

同志社大学ホームページ：<https://www.doshisha.ac.jp/>

付記

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任をもって破棄いたします。また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以上

Deadline for application: Application materials must arrive by 17:00 on Wednesday, July 1, 2020 via registered mail (*kakitome*) or commercial parcel delivery (*takuhaibin*).

Send application to: Professor Toru Endo, Dean
Faculty of Global and Regional Studies
Doshisha University
Karasuma-dori Kamidachiuri-agaru
Kamigyo-ku, Kyoto 602-0898
Japan

N.B. Please print "Application Documents (Contract)" in red ink on the face of the envelope.

Please note the following with regard to the selection process:

- 1) After receipt of your initial application materials, we may request additional items.
- 2) Upon completion of the initial screening procedures, successful candidates will be interviewed in both English and Japanese and will be asked to give a demonstration lesson. Interview will be scheduled on the first week of September. At that time, we will request to see the originals of degree certificates/diplomas. During the interview, each candidate will also be briefly examined on his/her reading ability in Japanese. (There is a possibility of a web interview)
- 3) For those candidates who are requested to come to Doshisha for an interview, partial funding for transportation costs may be available according to the Faculty's regulations.
- 4) Candidates will be notified of the results upon completion of the selection process.
- 5) In principle, application materials cannot be returned. Upon request, however, they will be returned by "pay on delivery." In such case, please specify "request return of documents" in red ink at the end of a list of academic publications (*gyosekisho*), and include a completed "pay on delivery" form of commercial parcel delivery (*takuhaibin*). Without it, we cannot undertake to return application materials.
- 6) Applicants should provide contact details if they plan to leave Japan during July, August and/or September, or if they change their address in Japan during the above period.

Faculty of Global and Regional Studies
Phone: +81-75-251- 2610 Fax: +81-75-251- 2781
E-mail: ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp
Faculty home page: <https://gr.doshisha.ac.jp/>
Doshisha University home page: <https://www.doshisha.ac.jp/>

Application materials will be retained by the Faculty of Global and Regional Studies, and safely disposed of after the completion of the selection process. Personal information will not be used for any other purposes, in accordance with the Protection of Personal Information Law of Japan.

Limited-Contract Teaching Position, Beginning April 2021
English Division, Faculty of Global and Regional Studies, Doshisha University

May 13, 2020

The Faculty of Global and Regional Studies at Doshisha University in Kyoto will have one opening for a five-year limited contract position, beginning in April 2021.

Rank: Assistant Professor, Associate Professor or Professor, depending on qualifications

Contract period: From April 1, 2021 to March 31, 2026 (non-renewable)

Qualifications and application conditions (all of the following must be satisfied):

- 1) First language is English, or equivalent English proficiency
- 2) Holder of a Master's degree or above in the area of English language education (TESOL) or in an academic field related to any English-speaking culture
- 3) At least three years' English teaching experience at the university level
- 4) Sufficient Japanese proficiency for general administrative tasks
- 5) Resident of the Kinki area of Japan during the contract period
- 6) At least three academic publications

Responsibilities:

- 1) Courses: English and/or culture-related courses, at all undergraduate levels and for all faculties in the university, at the Imadegawa and/or Kyotanabe Campuses
- 2) Teaching load: A minimum of eight 90-minute classes per week, spread over five days
- 3) Administrative responsibilities: Involvement in curriculum design and planning; study-abroad programs; language counseling; registration, invigilation and entrance examination related duties including one academic year serving on the committee to prepare entrance examinations.

Application materials:

- 1) Curriculum vitae (履歴書, *rirekisho*), a list of academic publications (業績書, *gyosekisho*) and a list of your previous work experience within The Doshisha (職務経歴報告書, *shokumukeireki houkokusho*) [if not applicable, please write “なし”], for which the necessary forms can be downloaded from the University home page: <https://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>
- 2) THREE offprints/copies each of TWO academic publications, together with THREE copies of a Japanese synopsis (about 800 characters) for each publication
- 3) THREE copies of a statement in English (approximately 1,000 words), explaining your reasons for applying, including your personal philosophy/comments regarding teaching methods
- 4) Materials pertinent to your teaching prowess, such as student evaluations, syllabi, and awards. Photocopies are accepted.
- 5) Copy of diploma of highest degree achieved (Master's or Doctorate)
- 6) Copy of TESOL diploma/certificate (if available)
- 7) Copy of document(s) certifying qualification at a certain level of the JEES Japanese Language Proficiency Test or similar measurement of Japanese proficiency (if available)

2020 年 5 月 13 日

関係各位

同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 遠藤 徹

教員（アメリカコース・英語専任）の公募について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび当学部では、下記の要領で専任教員を募集することになりました。つきましては、貴関係者にご周知いただき、適任者の応募についてご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 任用職名：助教、准教授、または教授
2. 担当科目：全学共通教養教育科目（英語）、および学部科目
3. 採用人員：1 名（アメリカコース）
4. 採用予定日：2022 年 4 月 1 日
5. 応募資格：
 - （1）英語教育学・応用言語学または関連分野を専門とする者。
 - （2）博士の学位を有する者、または博士号を取得見込みであることが証明できる者。
 - （3）国籍は問わない。ただし、本学での職務遂行上必要な日本語運用能力を有すること。
 - （4）英語教育の経験があり、英語教育および語学カリキュラム策定に強い意欲を持つ者。
 - （5）教育・研究のほか、各種校務に積極的に関わる意志のある者。
 - （6）採用後、近畿圏に居住できる者。
6. 提出書類：以下の（1）～（4）を PDF 形式で E メールに添付して提出すること。
 - （1）履歴書および研究業績書。書式は同志社大学ホームページを参照のこと。
（ダウンロード可 <https://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>）
 - （2）主たる業績 3 点と各業績についての日本語要約（各 800 字以内・書式自由）。業績のうち 1 点は英語で書かれたものとする。
※博士論文（あるいはそれをベースとした刊行物）は全体を PDF 化すること、その他の著書については目次、奥付、序論及び中心となる章のみでも可。
 - （3）学位を有する者は、学位記の写し、または学位証明書。学位を有しない者は、学位を取得見込みであることを証明する文書。
 - （4）英語教育に関する提言：「グローバルな視点からみた今後の大学における英語教育のあり方についての提言」（2,000 字程度・書式自由）。
7. 応募締切日：2020 年 7 月 2 日（木）17：00【必着】

8. 提出先：同志社大学グローバル地域文化学部英語専任教員応募用アドレス：

ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp

※Eメールの件名に必ず「グローバル地域文化学部英語専任教員応募」と書いて送信すること。

9. その他

- (1) 選考の過程で応募業績の原本およびその他すべての業績の原本及び電子媒体化したものの提出を求めることがある。(7月中旬以降)
- (2) 必要な時点で学位記(原本)の提示を求めることがある。
- (3) 必要に応じて面接を行う。また、英語の模擬授業の実施を求めることがある。(8月下旬～9月上旬)なお、面接と模擬授業についてはweb上で実施する場合もある。
- (4) 面接に際し、本学部所定の交通費を支給する。
- (5) 選考結果については、選考が終了次第、直接本人に通知する。
- (6) 夏期休暇中に連絡先が変わる場合には、変更期間、変更先の住所、電話／ファックス番号、Eメールアドレスなどを、必ず応募メールに記載すること。

同志社大学グローバル地域文化学部

〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上

電話：075-251-2610 Fax：075-251-2781

Eメール：ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp

グローバル地域文化学部ホームページ：<https://gr.doshisha.ac.jp/>

同志社大学ホームページ：<https://www.doshisha.ac.jp/>

付記

ご提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任を持って破棄いたします。また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以上

2020 年 5 月 13 日

関係各位

同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 遠藤 徹

教員（任期付）の公募について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび当学部では、下記の要領で任期付教員を募集することになりました。

つきましては、貴関係者にご周知いただき、適任者の応募についてご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

記

1. 任用職名：助教、准教授、または教授
2. 担当科目：全学共通教養教育科目（ドイツ語）、および言語文化関連科目
3. 採用人員：1 名
4. 任用期間：2021 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の 5 年間（任用期間満了後の契約更新はしない）
5. 応募資格：
 - (1) ドイツ語を母語とする者、またはそれに準ずるドイツ語運用能力を有する者。
 - (2) ドイツ語教授法（DaF、e-ラーニング等）、ドイツ語学・文学研究、ドイツ語圏の文化・社会研究、または日本学を専門とし、ドイツ語教育に関する経験実績を有する者。
 - (3) 博士の学位を有する者またはそれに準ずる者。
 - (4) 校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者。
 - (5) 近畿圏に居住できる者。
6. 義務時間と業務：
 - (1) 授業担当は、今出川校地および京田辺校地における 1 週 16 時間（8 コマ）を基準とする。
 - (2) 科目担当以外に、外国語カリキュラムに関する業務、学生の外国語能力向上に関する業務、国際交流に寄与する業務、入学試験関連業務等を担当する。
7. 提出書類：以下の(1)～(5)を PDF 形式で E メールに添付して提出すること。
 - (1) 履歴書・研究業績書および学校法人同志社内における職務経歴報告書各 1 通。
書式は同志社大学ホームページを参照のこと。
(ダウンロード可 <https://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>)
 - (2) 主たる業績 2 点（各々日本語による 800 字程度の要約を添付すること）を各 1 部送付のこと。
 - (3) 応募理由書（これまでの教育実績および今後の教育研究計画をドイツ語 1,000 語程度、または日本語 3,000 字程度にまとめたもの）。
 - (4) 学位証明書のコピー。

- (5) 日本語能力を証明する書類（検定資格など）がある場合、そのコピー（ただし日本語で書かれた業績がある場合には不要）。

8. 応募締切日：2020年7月10日（金）

注）追って受領確認メールをお送りします。それを以て提出完了となりますので、ご確認ください。ただし、受領確認メールを送るまでしばらく時間がかかることがあります。

9. 提出先：同志社大学グローバル地域文化学部ドイツ語教員（任期付）応募用アドレス：

ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp

注）Eメールの件名に必ず「グローバル地域文化学部ドイツ語教員（任期付）応募」と書いて送付すること。

10. その他：

- (1) 選考の過程でその他の業績の提出を求めることがある。
- (2) 必要な時点で学位証明書等の原本の提示を求めることがある。
- (3) 必要に応じて模擬授業および日本語によるオンライン面接を行う（8月下旬もしくは9月上旬を予定）。
- (4) 選考結果については、選考終了後すみやかに本人に通知する。
- (5) 夏期休暇中に連絡先が変わる場合には、変更期間、変更先の住所、携帯電話番号、Eメールアドレス等を記載し、必ず応募メールに記載すること。

グローバル地域文化学部

ホームページ：<https://gr.doshisha.ac.jp/>

TEL：075-251-2610

FAX：075-251-2781

E-mail：ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp

同志社大学

ホームページ：<https://www.doshisha.ac.jp/>

付記

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任をもって破棄いたします。

また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以上

- Ein Motivationsschreiben auf Deutsch (ca. 1000 Wörter) oder Japanisch (ca. 3000 Schriftzeichen)
- Kopien der wichtigsten Zeugnisse betr. akademischer Titel und Japanischkenntnisse

Bewerbungsverfahren:

- Bitte senden Sie Ihre Bewerbung **per E-Mail (Unterlagen im PDF-Format als Anhang)** an folgende **E-Mail-Adresse** (Büro der Doshisha University Faculty of Global and Regional Studies):

ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp

Betreff: 「グローバル地域文化学部ドイツ語教員(任期付)応募」

- Bewerbungsschluss: **10.7.2020** (Nach Eingang der Bewerbung erhalten Sie nach Prüfung eine Empfangsbestätigung per E-Mail.)
- Im Verlauf des Bewerbungsverfahrens werden die Kandidatinnen/Kandidaten der engeren Auswahl aufgefordert, alle weiteren Veröffentlichungen einzureichen und Originale der Zeugnisse vorzulegen.
- Mit den Kandidatinnen/Kandidaten der engeren Auswahl sind ein persönliches Interview auf Japanisch und ein Probeunterricht geplant. Das Interview sowie der Probeunterricht findet Ende August /Anfang September statt und wird *online* durchgeführt.
- Die Bewerbungsunterlagen dienen nur dem internen Gebrauch. Bei einer erfolglosen Bewerbung werden alle Unterlagen den Bestimmungen des Datenschutzes entsprechend vernichtet.
- Weitere Informationen zur Doshisha University Faculty of Global and Regional Studies,

HP: <https://gr.doshisha.ac.jp/>

E-Mail: ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp

Tel: 075-251-2610 Fax: 075-251-2781

Bitte beachten: Bitte alle Anschriften (Adresse in Japan und Heimatadresse) sowie Telefonnummern (Handy) und E-Mail-Adressen angeben, unter denen Sie in dringenden Fällen erreichbar sind.

Doshisha Universität Kyoto/ Japan

An der Doshisha Universität ist zum 1.4.2021 folgende Stelle neu zu besetzen:

DOZENTUR / PROFESSUR

(befristet für 5 Jahre: vom 1.4.2021 bis zum 31.3.2026. Eine Verlängerung des Vertrags ist ausgeschlossen)

Aufgabengebiete:

- Lehre im Bereich Deutsch als Fremdsprache, deutsche Landeskunde und Interkulturelle Kommunikation
- Unterrichtsumfang: Mindestens 8 Doppelstunden pro Woche auf dem Imadegawa- sowie dem Kyotanabe-Campus (Deutsch für Hörer aller Fakultäten)
- Organisatorisch-administrative Aufgaben (Planung und Verbesserung des Curriculums, Studienberatung, Organisation von zusätzlichen Veranstaltungen zur Förderung des interkulturellen Austausches, Mitarbeit bei den Aufnahmeprüfungen usw.)

Bewerbungsvoraussetzungen:

- Deutschkenntnisse: Muttersprachlich oder auf muttersprachlichem Niveau
- Engagement in Lehre und Forschung im Bereich Deutsch als Fremdsprache
- Studienabschluss (möglichst Promotion) in Deutsch als Fremdsprache und/oder Germanistik und/oder einem anderen relevanten geistes- und sozialwissenschaftlichen Fach. Im Falle von einem Abschluss in Japanologie sind praktische Erfahrungen im Bereich DaF notwendig.
- ausreichende Japanischkenntnisse für die Durchführung der universitären Aufgaben
 - Bereitschaft, bei Vertragsabschluss in der Region Kinki zu wohnen

Bewerbungsunterlagen:

- Ausführlicher Lebenslauf mit einer Auflistung aller Berufs- und Lehrerfahrungen und
 - falls vorhanden – einer Auflistung der früheren Anstellungen bei der Doshisha Universität / der Doshisha Frauen Universität / den zur Doshisha gehörenden Grund-, Mittel- und Oberschulen sowie eine Auflistung der wissenschaftlichen Veröffentlichungen (Formulare zum Herunterladen: <https://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>)
- Kopien Ihrer zwei wichtigsten Publikationen mit Resümee auf Japanisch (jeweils ca. 800 Schriftzeichen)

関係大学長
関係機関の長 殿

山口大学人文学部長
脇 條 靖 弘
(公 印 省 略)

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記の要領により教員を公募することになりました。
つきましては、ご多用中誠に恐縮でございますが、貴機関関係者の方へご周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 所属講座 人文学部人文学科欧米言語文学講座
2. 採用職名・人員 講師1名（女性限定）
3. 専門分野 英語圏文学、英語圏文化、比較文学・文化、異文化理解、異文化コミュニケーション等が望ましい
4. 担当授業科目
学部：英語圏文学、英語圏文化、比較文学・文化、異文化理解、異文化コミュニケーション等に関わる専門科目
英会話、英作文、時事英語など実用英語に関わる専門科目
その他の学部科目
大学院：英語圏文学、英語圏文化、比較文学・文化、異文化理解、異文化コミュニケーション等に関わる専門科目
共通教育：英語関連科目、基礎セミナー
その他：教員免許に関わる科目
*上記のすべての授業科目を毎年度担当するということではありません。
*担当授業科目は将来変更される可能性があります。
5. 応募資格
次の(1)～(7)の条件をすべて満たしていること
 - (1) 女性であること
※ 山口大学は男女共同参画を推進しており、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、女性教員を採用します。
 - (2) 英語圏文学、英語圏文化、比較文学・文化、異文化理解、異文化コミュニケーション等を研究対象とする者
 - (3) 当該分野あるいは関連分野において博士学位または Ph.D.を有するか、それと同等の能力を有する者

- (4) ①英語母語話者、もしくは、②それと同等の英語能力を有する者（日本語母語話者も含む）
- (5) 日本語母語話者でない場合は、授業やその他の業務に支障ない日本語運用能力を有していること
- (6) 学部・研究科および大学の運営業務（入試業務を含む）に携わる能力及び熱意を有する者
- (7) 採用後、山口大学吉田キャンパスに通勤可能な地域に居住できる者

*日本の高等教育機関における教育経験（常勤もしくは非常勤）を有することが望ましい。

6. 採用予定年月日 令和3年4月1日

7. 応募期限 令和2年9月23日（水）必着

8. 提出書類（書類(1)(2)(4)(5)は、A4用紙で作成すること）

(1) 履歴書（写真貼付） 1通

*学歴は、高校卒業時以降を記載してください。

*教育経験（非常勤講師を含む）を有している場合は、履歴書の職歴記載欄に、担当した科目名なども記入してください。

(2) 研究業績一覧表（別紙様式） 1部

(3) 主要研究業績（現物または抜刷。コピーも可） 3点・各3部

(4) 主要研究業績要旨 1部

((3)の各業績について日本語400字程度の要旨を記したもの。様式は自由)

(5) これまでの経験を踏まえた今後の研究・教育に向けた抱負を、1,000字程度の日本語で書いたもの

(6) 取得学位の学位記の写しもしくは学位証明書

9. 選考方法

書類審査による第一次選考の後、第二次選考として面接（20分間程度の模擬授業を含む）を行います。面接のための来学費用は申請者が負担するものとします。なお、新型コロナウイルスへの対応のため、遠隔面接方式に変更する可能性もあります。

また、選考過程で追加の資料提出を求めることがあります。

10. その他

給与等雇用条件は、本学の規定によります。

年俸制が適用されます。

11. 応募書類提出先

〒753-8540

山口県山口市吉田1677-1

山口大学人文学部総務企画係

欧米言語文学講座人事担当 宛

12. 問い合わせ先

山口大学人文学部総務企画係

電話：(083) 933・5200 (代表)

E-Mail : hc143@yamaguchi-u.ac.jp

*封筒の表に「欧米言語文学講座教員応募書類在中」と朱書し、「簡易書留」や「レターパック」、「宅配便」など、受領確認ができる配送手段で送付してください。

*応募書類により取得する個人情報、採用者の選考、及び採用の手続きに利用するものであり、この目的以外で使用することはありません。

*応募書類は、原則として返却いたしません。

The Faculty of Humanities at Yamaguchi University invites applications from persons suitably qualified for the tenured post of Lecturer in the field of English-language literature, Anglosphere culture, comparative literature/culture or cross-cultural understanding/communication.

Title: Lecturer (Sen'nin-Koshi)

*Yamaguchi University promotes gender equality based on the Basic Act for a Gender Equal Society, and will employ a female academic staff member this time.

Content of job information:

- (1) Teaching English-language literature, Anglosphere culture, comparative literature/culture or cross-cultural understanding/communication (and other related subjects) at the Faculty of Humanities and the Graduate School of Humanities
- (2) Teaching English proficiency skills at the Faculty of Humanities
- (3) Teaching English courses of the General Education program
- (4) Participation in required educational and administrative duties normally undertaken by faculty members, including the work concerning the admission examinations

Date of appointment: April 1, 2021

Work location: Yoshida Campus, 1677-1 Yoshida, Yamaguchi-shi (city), Yamaguchi-ken (prefecture), JAPAN

Requirements:

- (1) Field of expertise: English-language literature, Anglosphere culture, comparative literature/culture, cross-cultural understanding/communication or other related fields
- (2) Ph.D. or equivalent in a relevant field
- (3) Native or near-native speaker of English
- (4) Good command of the Japanese language

*English teaching experience (part-time or full-time) at the college/university level in Japan is preferred.

*The successful candidate is expected to live in the area of Yamaguchi after April, 2021.

Application period: 2020/05/15 - 2020/09/23

Documents to be submitted for application ((1)(2)(4) and (5) should be prepared with A4-size sheets of paper):

- (1) Curriculum vitae with an indication of college/university courses currently or previously taught by the candidate
- (2) A list of publications with indication of whether the journal was refereed or not
- (3) Three copies (either offprints or photocopies) of three major publications
- (4) Abstracts in Japanese of the three major publications (each approximately 400 letters in length)

- (5) An essay in Japanese on your educational and research philosophy (approximately 1,000 letters in length)
- (6) A photocopy of the applicant's M.A. and/or Ph.D. diploma or its certificate

The above documents should be sent either by registered postal mail or other home delivery service.

*Write in red ink "Application: European/American Languages & Literature Course" on the envelope.

Address for submission of documents:

Faculty of Humanities
Yamaguchi University
1677-1 Yoshida, Yamaguchi-shi
Yamaguchi-ken
753-8540 JAPAN

Notes:

- (1) Application documents will not be returned.
- (2) The applicants may be asked to submit other documents considered necessary by the personnel committee.
- (3) After the screening is completed, the selected applicants will be asked to come to the Yoshida Campus for interview. The candidates will not be reimbursed for their travel expenses. During the interview, the candidates are to present a 20-minute mock lecture on a subject of their choice in the field of English-language literature, Anglosphere culture, comparative literature/culture or cross-cultural understanding/communication.
There is a possibility that the candidates will be requested to have a remote interview as a measure against the further spread of the new coronavirus.
- (4) Salary, allowances and benefits will be provided in accordance with Yamaguchi University regulations. The annual salary system will be applied.

研究業績一覽表

*著書・論文・参考は、それぞれ別葉にて作成願います。

[illegible]